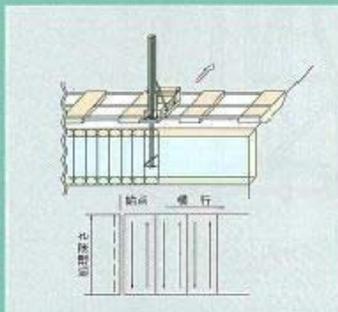


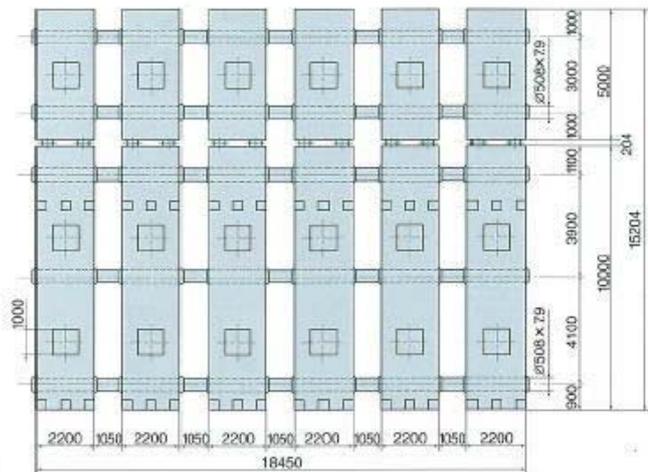
ソイルマスター工法の特徴概略			有効標準改良杭径 (m)	施工条件			攪拌方式			備考: 所属団体等 攪拌杭径(φ)について C<10KN/m2 φ=1.4m C<20KN/m2 φ=1.2m C<30KN/m2 φ=1.0m
工法名	分類	有効標準改良杭長 (m)		水上	泥上	陸上	垂直	水平	噴射	
FD-15	非自走式	15.0	1.2	×	○	×	×	○	×	
FD-20	非自走式	20.0	1.2	×	○	×	×	○	×	
FD-20W	非自走式	20.0	1.2	○	×	×	×	○	×	



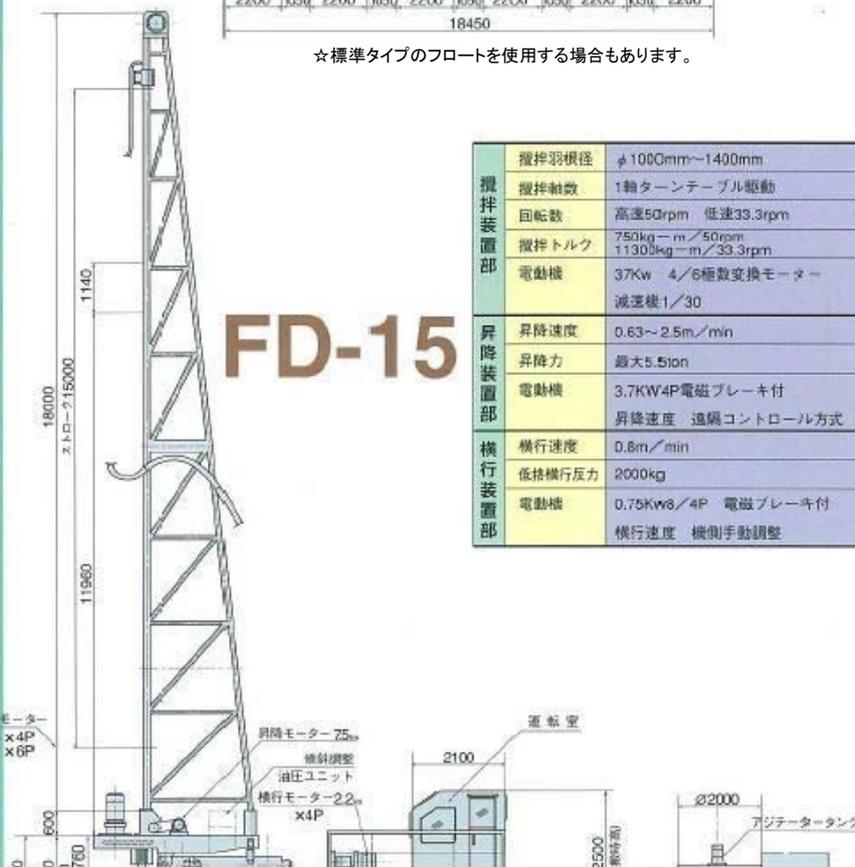
- プラントによって固化材と水を所定の濃度に混合します。
- スラリー状になった固化材をクラウトポンプを用いて船上アジテーターへ圧送します。
- かく拌装置はバッチ方式により強制的に上下運動させ固化材スラリーを注入、混合し、対象土の安定処理を行います。



FD-15 FD-20

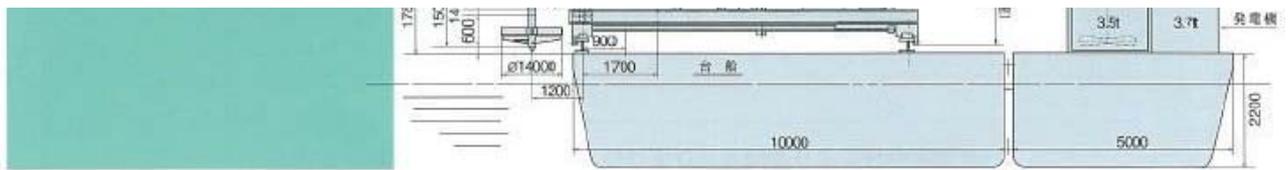


☆標準タイプのフロートを使用する場合もあります。



FD-15

攪拌羽根径	φ1000mm~1400mm
攪拌軸数	1軸 ターンテーブル駆動
回転数	高速50rpm 低速33.3rpm
攪拌トルク	750kg-m / 50rpm 11300kg-m / 33.3rpm
電動機	37Kw 4/6極数変換モーター 減速機1/30
昇降装置部	昇降速度 0.63~2.5m/min 昇降力 最大5.5ton 電動機 3.7KW4P電磁ブレーキ付 昇降速度 遠隔コントロール方式
横行装置部	横行速度 0.8m/min 低拵横行反力 2000kg 電動機 0.75Kw8/4P 電磁ブレーキ付 横行速度 機側手動調整



☆標準タイプのフロートを使用する場合があります。



カタログへ

Copyright(C) 2005 Taiheishoko Inc. All Rights Reserved

本社/〒816-0063 福岡市博多区金の隈2-24-5